

【 下田中学校 学校だより 】

令和5年度 第9号



桜木の下で

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/sitadachu/index>

三条市立下田中学校

(三条市笹岡210番地)

TEL 46-2020 FAX 46-2036

令和6年3月22日(金)

『能登半島地震義援金校内募金運動』

「被災者の力になりたい！」新生徒会発案



新生徒会三役 I 生徒会長・T 副会長・W 副会長の3名が初めて、「夢・進路相談室」を尋ねに来てくれました。

「能登半島地震義援金校内募金運動をやらせてください！」と直談判に来たのです。私は涙が出るほど嬉しくなり、すぐに保護者向けのお便り作成し、全職員に周知し、学校挙げて、取り組もうと呼びかけました。

まだまだ肌寒い2月末日にもかかわらず、初日は刈屋PTA会長・前田コミュニティスクールディレクター・学校

運営協議会の山田御住職・三条新聞社記者等、大勢の方々が、かけつけてくださいました。

新聞社の取材を受けた石月生徒会長は、「地震で新潟にも被災がありました。他人事として捉えず、今までの生活が突然に崩れた人々を救いたいです！」とコメントしました。記者の方が、「とても立派な、大人な生徒会長さんですね！」と褒めていました。集まった義援金は、なんと「¥40,864」でした。

生徒会の発想で、直接、被災した石川県の中学校を支援できないものかということで、実際、石川県に視察に行った山田御住職から、現地の様子を伺いました。そこで現在、石川県珠洲市の中学校と連絡を取り合っています。生徒会交流をしながら、支援物資を被災した中学校へ届けます。

このように次年度も生徒と教職員が、共に学校づくりを協働し、問題解決を図り、生徒・職員の双方にとって、安心安全で、持続可能な学習環境の構築を目指します。

I hope that your dreams will come true !

三条市立下田中学校

校長 小熊 哲也



【適正な部活動の在り方について】 ～ 学校便り 11月・2月号掲載記事 ～

安全な部活動を運営するには、「部活設置数×2名（顧問・副顧問）＝教諭数」と言われています。本校は部数が12部あり教諭数は15名です。部活指導「顧問一人体制」が長きに渡り続き、出張や放課後に進路や学習指導等が入ると部活運営が、かなり困難な状況です。

他校の実践例は、その年に新入部員ゼロの場合、翌年募集を停止し、在籍選手全てが引退後に廃部というのが多いようです。本校も今後の部活地域移行を見据えながら、下田中の適正な部活の在り方について改善期に入りました。（同規模校の四中と職員生徒数が倍の一中と比較）

【資料】	第一中学校	部活数設置	15部	教諭数	28名	全校生徒数	440名
	第四中学校	部活数設置	8部	教諭数	15名	全校生徒数	214名
	下田中学校	部活設置数	12部	教諭数	15名	全校生徒数	200名

◆平成30年度改訂の下田中部活規定には、下記が明記されています！

（1）部の設置について

①設置基準は原則的に以下のとおりとする。

「1チーム、または団体戦が組める部員数である。」

この設置基準を満たさない部が幾つかあります。1チームが組めない部員数の球技部が、他校との合同チームで、存続してきました。（現在、野球部・バスケット部には、町おこし協力隊の若者有志から、部活指導に協力してもらっています。）

上記を踏まえて令和6年度の下田中部活動の在り方について（案）

- ・令和8年度には、部活動の土日地域移行が完全実施される見込みです。
- ・生徒数減少に伴い、職員数も減り、長きに渡り「顧問一人体制」が続いています。
- ・放課後の進路/学習指導や出張等で、毎日多くの職員を欠く為、平日の部活指導に目が行き届かない日もあります。また未経験の運動部を担当する職員もいます。

そこで令和6年度に、①新入部員ゼロ もしくは、

②団体球技が全部員数で1チーム構成できない場合は、

令和7年度は募集停止（2・3年生で活動） 令和8年度（3年生のみで活動）

令和9年度に当該部を休部（廃部）とする方向で、令和6年度から再考します。

* ご意見ご質問等ご遠慮なく TEL 46-2020 下田中学校校長小熊まで